

団体交渉報告 その⑦

予算が付き次第

台風16号による

病院の浸水

「2018年度以降に対応」

昨年の台風16号による豪雨で冠水した附属病院のバス停側の通路。去る3月の団体交渉で話題になりました。「予算が付き次第、2018年度をめぐりに回収する」というのが当局の目標です。

附属病院の通路 100ミリの降水でも

57ミリしか対応できない

矢崎 昨年9月の台風16号の際に、病院の仮設通路で浸水があった。病院の解体工事にともなう、病院の雨水排水を仮設で行っていたところ、仮設ポンプの不具合によって浸水が発生した。現在、仮設ポンプの増強や、排水経路を別途確保する方向で、施設部の方で対応を行っている。想定最

大降水量は、大学構内から放流する津市の第2雨水幹線の想定最大降水量の時間あたり57ミリに合せている。構内の第2雨水幹線の敷設工事を2015年度から実施しているが、国の予算の状況により、病院地区の方は2018年度以降になる予定である。

伊藤 1時間に57ミリというのは少ない。16号は、津で100ミリ近く降らせたとと思う。それくらいしか処理能力がないということか。矢崎 そのときには57ミリを超えていたと私も思う。施設部の方で見直している。まだ予算が付いていないが、病院地区では2018年度以降に完成させるつもりだ。

「分担して加入を呼びかけよう」「第2回執行委員会での議論から」

先週17日、第2回執行委員会を開催しました。

まず最初に、労働契約法18条改正による有期雇用教職員の5年経過後の無期転換権のとりあつかいについて、この間の全国および三重大学のとりくみについて学習会を開催しました。ここでは、三重大学の学内規程等の改正の動きを解説するとともに、現在の課題である、「労働契約書を毎年更新することの問題性」と、非常勤講師について「カリキュラム変更」があった場合に、濫用され

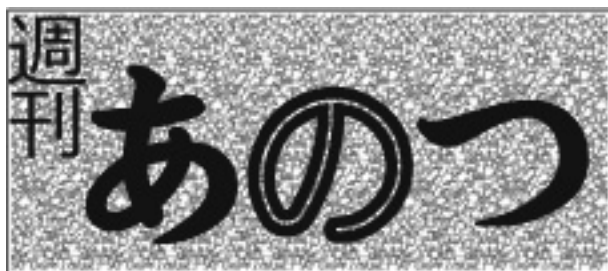
る傾向にあること、それらへの対応が今後の喫緊の課題であることが強調されました。

その後、教員が研究者として研究活動を活性化させるに際しての、研究休職制度等の研究支援制度の現状調査を開始すること、新たに創設された給付制奨学金制度の抜本的な拡充を求めることの必要性が指摘されました。

また、新規採用者に対して執行委員が分担して呼びかけることになりました。

第88回三重県中央メーデー

日時 2017年5月1日(月)
午前 10時開会
場所 津市・観音公園
安倍「働き方改革」のもとで、長時間労働の是正が叫ばれています。多くのご参加を。



三重大学教職組人文学部支部執行委員会

2017年 4月25日 (火) 第164号

津市栗真町屋町1577 三重大学人文学部内

編集・発行人 前田定孝

E-mail:kff02520@nifty.com

ふつうのくらしに これだけかかる!!

愛知県労働
組合総連合

最低生計費試算調査結果です

2015年愛知県最低生計費総括表 (夫婦と未婚子世帯)

生計費結果 (名古屋市)	30代夫婦と 子ども2人 (小学生・幼児)	40代夫婦と 子ども2人 (中学生・小学生)	50代夫婦と 子ども2人 (大学生・高校生)
居住面積(賃貸)	42.5㎡	47.5㎡	50㎡
消費支出①	374,200	425,652	563,083
食費	101,184	113,196	122,206
住居費	52,000	55,000	59,000
光熱・水道	19,961	19,961	20,399
家具・家事用品	14,858	16,717	17,025
被服・履物	16,981	19,850	25,654
保健医療	9,593	7,071	11,235
交通・通信	59,447	74,155	85,915
教育	26,986	37,486	128,649
教養娯楽	27,445	30,823	30,385
その他	45,745	51,393	62,615
非消費支出②	68,756	85,566	97,224
予備費③	37,400	42,500	56,300
最低生計費(①+③)	411,600	468,152	619,383
税込み月額(②+④)	480,356	553,718	716,607
税込み年額(⑤×12)	5,764,272	6,644,616	8,599,284

和歌山大学軍事的安全保障研究に関する声明(案)

2017年4月14日

学長、理事、副学長、
学部長懇談会

和歌山大学は、人類の永続的な発展と平和な社会に貢献する高等教育機関として、学問の自由及び学術の健全な発展のために、軍事的安全保障研究と見なされる可能性のある研究は、これの実施を認めないこととする。

1. 日本学術会議による1950年の「戦争を目的とする科学の研究は絶対にこれを行わない」旨の声明、1967年の「軍事目的のための科学研究を行わない声明」、並びに、2017年の「軍事的安全保障研究に関する声明」を尊重する。
2. 軍事的安全保障研究の可能性のあるものについて、技術的・倫理的に審査・評価する審査委員会を設置する。

軍事的安全保障研究と見なされる可能性のある研究は
これの実施を認めない

先月、日本学術会議が幹事会で出した声明は、「学協会等において、それぞれの学術分野の性格に応じた、ガイドライン等を設定することも求められる」としました。これにこたえて和歌山大学では、上記の指針を作成済みです。三重大学でも同様のとり組みが求められます。

「30代4人家族では、家賃5万2000円のアパートに居住し、食費は4人で1日3300円。夫は背広2着を着回し、子どもは運動靴1足を2年間履き続けるなど生活はつましい。単身赴任と違い、名古屋市でも日帰り行楽や買い物、子どもの送り迎えに自動車(月3・1万円)が必需品だ。40代4人家族では、中学生と小学生の教育費が月3・7万円。50代4人家族

2017年 4月17日

2017年度三重大学教職員組合役員選挙開票結果
三重大学教職員組合選挙管理委員会

執行委員長	兼重 直文	信任 104票	不信任 1票
副執行委員長	重松 良祐	信任 103票	不信任 2票
書記長	深井 英喜	信任 104票	不信任 1票
書記次長	末原 憲一郎	信任 104票	不信任 1票
書記次長	米倉 雄治	信任 104票	不信任 1票
監事	小田 敦子	信任 104票	不信任 1票
監事	田中 伸明	信任 104票	不信任 1票

では一気に13万円と子どもの成長とともに支出額は増える。夫の飲み会は月1回(3000円)、妻は家事の合間に知人との会食(月1回2000円)でストレス発散する。――昨年、愛知県労働組合総連合が、民間や公務を含む組合員の実際の生活をもとに、積算方式で試算した調査結果から見えてくる、日常生活です。愛労連は、「試算にあたっては、冷蔵庫などの家電や家具は最低価格のものでそろえますが、美容院にも通

い、つきあいや生活も加味した「普通のくらし」を想定しています」とします。その結果、子育て世代では30代で年570万円、40代で660万円、50代で860万円必要なことが明らかに「なったものの、「1人の収入では最低生計費額に満たない世帯が約半数」とします。とくに税・社会保障や教育費が生活を圧迫しています。人間らしい生活のためにも、まともな賃上げが緊急に必要です。

非正規教職員の無期転換権を適正に保障させよう